

# 名古屋市感染症発生動向調査情報

2018年(平成30年)第7週(2018年2月12日~2月18日)

名古屋市感染症情報センター(名古屋市衛生研究所疫学情報部) 2018年2月21日作成

<http://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/15-7-3-3-0-0-0-0-0-0.html>

## ◆本市の状況

〔定点把握感染症の発生動向〕

- インフルエンザの定点当たり患者報告数は、前週の32.5人から20.5人に減少した。

〔1類~5類全数把握感染症の届出〕

診断週	感染症の分類	疾患	発生数	発生の概要
2018年 第7週	2類	結核	5	<ul style="list-style-type: none"><li>女性、68歳、肺結核</li><li>女性、58歳、肺結核</li><li>男性、74歳、肺結核</li><li>男性、49歳、肺結核</li><li>男性、80歳、無症状病原体保有者</li></ul>
2018年 第7週	5類	アメーバ赤痢	1	<ul style="list-style-type: none"><li>男性、44歳、腸管アメーバ症、感染経路：不詳、感染地域：愛知県</li></ul>
2018年 第7週	5類	急性脳炎	1	<ul style="list-style-type: none"><li>女性、1歳、病原体不明</li></ul>
2018年 第7週	5類	侵襲性肺炎球菌感染症	1	<ul style="list-style-type: none"><li>女性、70歳、菌検出検体：血液</li></ul>
2018年 第7週	5類	梅毒	1	<ul style="list-style-type: none"><li>男性、48歳、早期顕症梅毒(1期)</li></ul>

※ 感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを表示。

(報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります)

報告日が遅れたため先週号までに掲載されなかった 1 類から 5 類全数報告感染症。

診断週	感染症の分類	疾患	発生数	発生の概要
2018 年 第 6 週	5 類	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	• 女性、1 歳
2018 年 第 6 週	5 類	侵襲性肺炎球菌感染症	1	• 女性、68 歳、菌検出検体：血液

※ 感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを表示。

〔2018 年 1 類～5 類全数把握感染症の届出報告数の累計〕

感染症の分類	疾患	累計
1 類感染症	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、他	0
2 類感染症	急性灰白髄炎	0
2 類感染症	結核（潜在性結核感染症を含む）	60（14）〔0〕 〔0〕 【0】
2 類感染症	ジフテリア	0
2 類感染症	重症急性呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 SARS コロナウイルスであるものに限る）	0
2 類感染症	中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 MERS コロナウイルスであるものに限る）	0
2 類感染症	鳥インフルエンザ（H5N1）	0
2 類感染症	鳥インフルエンザ（H7N9）	0
3 類感染症	コレラ	0
3 類感染症	細菌性赤痢	0
3 類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	0（0）
3 類感染症	腸チフス	0
3 類感染症	パラチフス	0
4 類感染症	E 型肝炎	1
4 類感染症	レジオネラ症	3
5 類感染症	アメーバ赤痢	3
5 類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	6

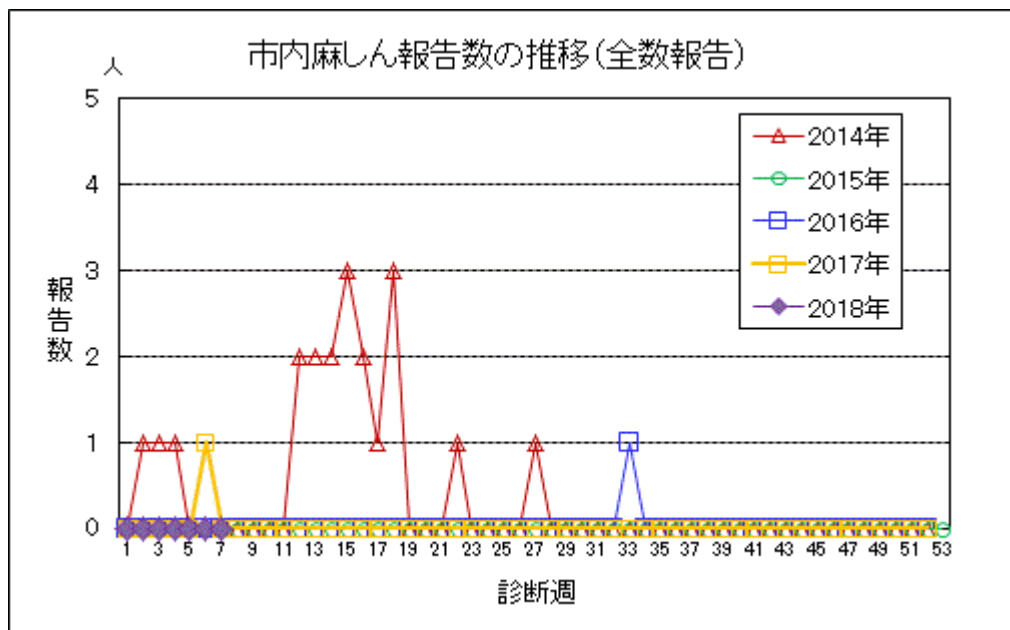
5 類感染症	急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く）	5
5 類感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1
5 類感染症	後天性免疫不全症候群	8(5)〈0〉【0】
5 類感染症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2
5 類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	14
5 類感染症	水痘（入院例に限る）	2
5 類感染症	梅毒	22(4)
5 類感染症	百日咳	8

累計は 2018 年第 1 週からの診断週による累計、( ) 内は無症状病原体保有者累計数を再掲、[ ] 内は疑似症累計数を再掲、【 】 内は感染症死亡者の死体累計数を再掲、〔 〕 内は感染症死亡疑い者の死体累計数を再掲、〈 〉 内は後天性免疫不全症候群の「その他」累計数を再掲。

対象疾患が多いため、4 類及び 5 類感染症は報告のあった疾患のみを掲載。

（報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります）

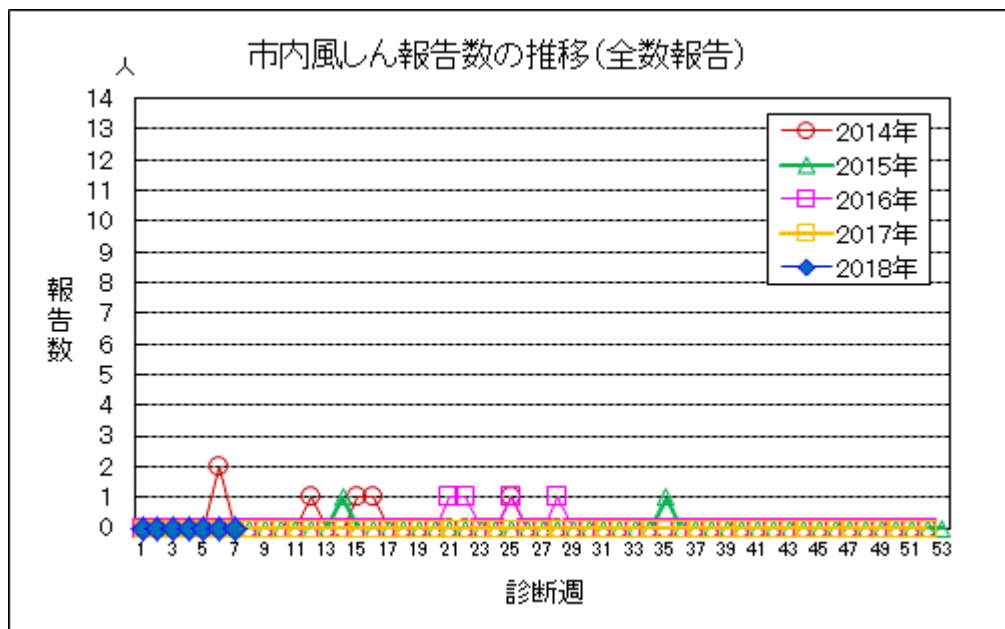
〔名古屋市麻しん報告数〕



〔愛知県麻しん患者調査事業について〕

平成20年1月1日から、麻しんは全数把握対象疾患となりましたが、愛知県内では、感染症法に基づく届出では把握できない情報を得るため、医師会と協力して「愛知県麻しん患者調査事業」を実施しており、名古屋市も参加しています。調査結果については下記のリンク先(愛知県衛生研究所ホームページの中のコンテンツ <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/msl/msl.html>)をご覧ください。

〔名古屋市の風しん報告数〕



〔定点医療機関からの情報〕

インフルエンザA型6人、B型14人	定点医療機関（千種区）
インフルエンザA型3人、B型7人 アデノウイルス咽頭炎4歳女	定点医療機関（千種区）
インフルエンザA型13人、B型20人	定点医療機関（千種区）
インフルエンザA型1人、B型5名	定点医療機関（千種区）
インフルエンザA4名、インフルエンザB6名	定点医療機関（東区）
インフルエンザA型：2名、B型：5名	定点医療機関（北区）
インフルエンザ：A型7名、B型15名。インフルエンザA型と溶連菌感染症との同時感染1名。	定点医療機関（西区）
インフルエンザA型3人・インフルエンザB型7人	定点医療機関（中村区）
インフルエンザA型4人・インフルエンザB型24人	定点医療機関（中村区）
インフルエンザA型5人・インフルエンザB型10人	定点医療機関（中村区）
インフルエンザA型47人・インフルエンザB型27人・臨床診断1人	定点医療機関（中村区）
インフルエンザA型：6名、B型：6名	定点医療機関（中区）
インフルエンザB型：1名	定点医療機関（中区）
インフルエンザA型：4名、B型：6名	定点医療機関（中区）
インフルエンザA型：4名、インフルエンザB型：9名	定点医療機関（昭和区）

インフルエンザA型：3名、インフルエンザB型：10名、不明1名	定点医療機関（昭和区）
インフルエンザA型：9名、インフルエンザB型：12名、不明：4名	定点医療機関（昭和区）
インフルエンザA型：7名、インフルエンザB型：5名	定点医療機関（昭和区）
インフルエンザA型1人、インフルエンザB型7人	定点医療機関（瑞穂区）
インフルエンザA型：1名 ・ インフルエンザB型：1名 アデノウイルス腸炎：2歳男児 ・ 病原性大腸菌O-1：2歳男児	定点医療機関（熱田区）
インフルエンザA型：2名 ・ インフルエンザB型：10名	定点医療機関（熱田区）
インフルエンザA型：8名 ・ インフルエンザB型：14名	定点医療機関（熱田区）
インフルエンザA型5名、インフルエンザB型7名	定点医療機関（港区）
インフルエンザA型4名、インフルエンザB型5名	定点医療機関（港区）
インフルエンザは、A型1名 B型11名です。	定点医療機関（南区）
インフルエンザは、A型(男性28名 女性36名) B型(男性2名 女性2名)です。	定点医療機関（南区）
インフルエンザは、A型1名 B型11名です。	定点医療機関（南区）
インフルエンザA型 6名 インフルエンザB型 10名 インフルエンザ臨床診断 2名	定点医療機関（守山区）
インフルエンザA型 3名 インフルエンザB型 14名	定点医療機関（守山区）

インフルエンザA型4名 B型9名	定点医療機関（緑区）
インフルエンザB型1名	定点医療機関（緑区）
インフルエンザA型1名 B型14名	定点医療機関（緑区）
インフルエンザA型4名・インフルエンザB型26名	定点医療機関（天白区）
インフルエンザA型3名・インフルエンザB型23名・検査未実施（臨床診断例）5例程度	定点医療機関（天白区）

上記、2018年第7週の定点医療機関からのコメント情報を集計したところ、インフルエンザA型237人（40.0%）、インフルエンザB型356人（60.0%）でした。

◆2018年第7週 患者報告数（疾病保健所別）、定点あたり患者報告数（疾病保健所別）、年齢階層別患者報告数（疾病別）

患者報告数（名古屋市）

2018年第7週（2018年2月12日～2月18日）

疾患 \ 保健所	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	計	前週比	過去比*
★インフルエンザ	125	77	121	107	154	40	88	66	69	76	84	110	116	38	52	114	1437	0.6	0.9
○RSウイルス感染症	3			5	2								2				12	0.9	1.2
○咽頭結膜熱	1		1	1								1	1			3	8	0.7	0.5
○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	12	3	12	2	3	1			2	1	1	3	13	2	6	4	65	0.9	0.8
○感染性胃腸炎	11	6	7	14	20	2	11		3	4	46	5	5	8	12	20	174	0.9	0.7
○水痘	1		2							1							5	0.4	0.5
○手足口病				1													1	1.0	0.4
○伝染性紅斑	1		1												1		3	3.0	0.5
○突発性発疹		2		2			2						1	1		1	9	1.8	0.9
○ヘルパンギーナ																	0		0.0
○流行性耳下腺炎					1												1	0.3	0.2
△急性出血性結膜炎																	0		
△流行性角結膜炎				1												1	2	0.5	1.5
◇細菌性髄膜炎																	0		
◇無菌性髄膜炎																	0		
◇マイコプラズマ肺炎																	0		0.0
◇クラミジア肺炎																	0		
◇感染性胃腸炎（ロタウイルスに限る）				1													1		3.0
計	154	88	145	133	180	43	101	66	74	82	131	122	137	48	72	142	1718		

\*過去3年の同週の平均値との比

★インフルエンザ定点数	5	4	5	4	5	4	5	5	4	4	4	4	5	4	4	4	70		
○小児科定点数	5	4	5	4	5	4	5	5	4	4	4	4	5	4	4	4	70		
△眼科定点数	1		1	1	1		1	1	1			1		1	1	1	11		
◇基幹定点数			1				1			1							3		

★○△◇は定点種別を示す。

のセルは、該当疾病の定点医療機関のない区を示す。

定点あたり患者報告数、および流行警報・注意報発生状況（名古屋市）

2018年第7週（2018年2月12日～2月18日）

疾患 \ 保健所	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	平均
インフルエンザ	25.0	19.3	24.2	26.8	30.8	10.0	17.6	13.2	17.3	19.0	21.0	27.5	23.2	9.5	13.0	28.5	20.5
RSウイルス感染症	0.6			1.3	0.4									0.5			0.2
咽頭結膜熱	0.2		0.2	0.3									0.3	0.2		0.8	0.1
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.4	0.8	2.4	0.5	0.6	0.3			0.5	0.3	0.3	0.8	2.6	0.5	1.5	1.0	0.9
感染性胃腸炎	2.2	1.5	1.4	3.5	4.0	0.5	2.2		0.8	1.0	11.5	1.3	1.0	2.0	3.0	5.0	2.5
水痘	0.2		0.4							0.3					0.2		0.1
手足口病				0.3													0.0
伝染性紅斑	0.2		0.2													0.3	0.0
突発性発疹		0.5		0.5			0.4						0.3	0.2	0.3		0.1
ヘルパンギーナ																	
流行性耳下腺炎					0.2												0.0
急性出血性結膜炎																	
流行性角結膜炎				1.0												1.0	0.2

警報対象疾患	流行発生警報		流行発生注意報 基準値
	開始基準値	終息基準値	
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	7	4	4
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

流行警報・注意報について

■ 太字の数字 は流行発生警報

■ 斜体の数字 は流行発生注意報

■ 警報及び注意報の発生は、厚生労働省の感染症発生動向調査における警報発生システムの基準値（左表）に準拠しています。なお基準値は、変更される場合や当センターの判断で、独自の設定に変更する場合があります。

■ この警報及び注意報は、感染症発生動向調査に関わる専門家の対策立案を支援するためのものです。詳しい目的、利用法等については当情報センターにご連絡ください。



年齢階層別患者報告数(名古屋市)

2018年第7週(2018年2月12日~2月18日)

疾患 \ 年齢階層	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上
インフルエンザ	4	16	41	48	79	100	83	73	79	59	70	150	54	76	96	136	93	76	43	61

疾患 / 年齢階層	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20歳以上
RSウイルス感染症	2	5	2	3										
咽頭結膜熱	1	3	1		2							1		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			5	2	10	13	6	6	4	3	2	3	2	9
感染性胃腸炎	2	2	12	16	15	7	7	7	7	4	7	13	7	68
水痘							1		2	1		1		
手足口病				1										
伝染性紅斑					1		1				1			
突発性発しん	1	2	3	3										
ヘルパンギーナ														
流行性耳下腺炎														1

疾患 / 年齢階層	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	
急性出血性結膜炎																				
流行性角結膜炎														1				1		

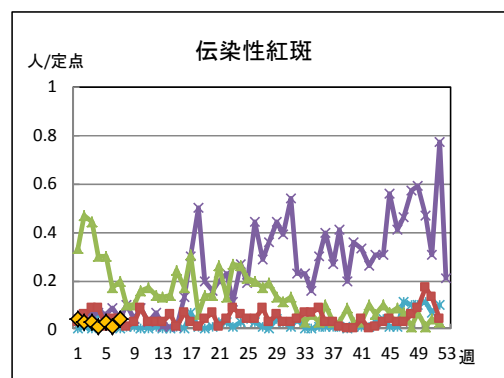
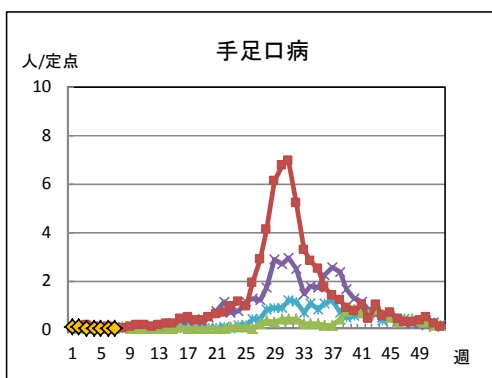
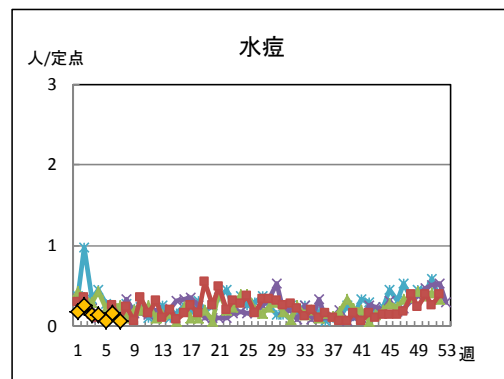
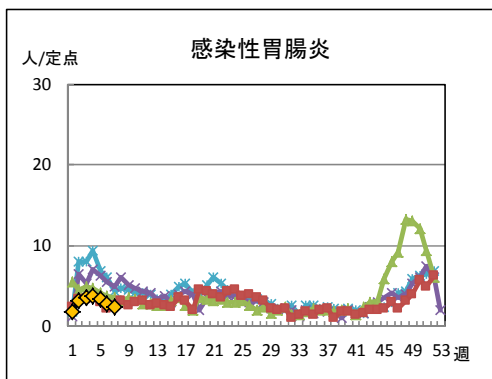
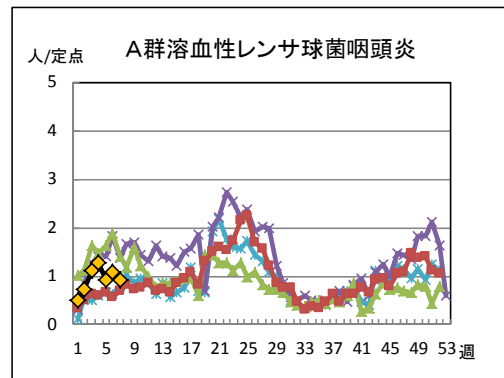
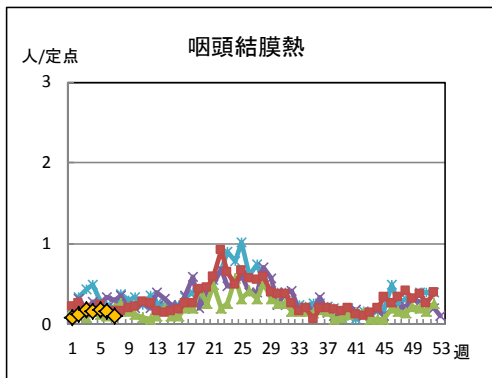
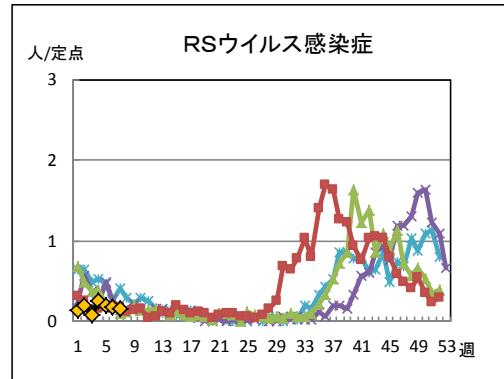
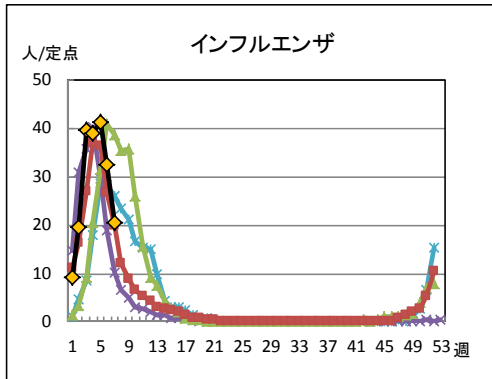
疾患 / 年齢階層	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
細菌性髄膜炎																
無菌性髄膜炎																
マイコプラズマ肺炎																
クラミジア肺炎																
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)		1														

〔インフルエンザ入院サーベイランス結果(基幹定点3カ所)〕

【2018年第7週:1件】 【2017/2018シーズン累計数:25件】

- 女性、7歳

◆小児科・インフルエンザ・眼科定点医療機関からの  
 定点あたり患者報告数の推移グラフ(1) 2018年第7週まで



◆小児科・インフルエンザ・眼科定点医療機関からの  
 定点あたり患者報告数の推移グラフ(2) 2018年第7週まで

